



# CHAPTER 3

## ハードウェアの設置

この章では、モビリティ サービス エンジン システムのラック ハンドルの取り付けおよび取り外し手順について説明します。



(注)

モビリティ サービス エンジンに、ユーザの保守可能な内部コンポーネントは含まれません。

この章は、次の内容で構成されています。

- 「[はじめる前に](#)」 (P.3-1)
- 「[ラック ハンドルの取り付けと取り外し](#)」 (P.3-2)

## はじめる前に

設置を開始する前に、装置に付属している『*Regulatory Safety and Compliance Information for the Cisco 3310 Mobility Services Engine*』マニュアルをお読みください。

この項では、次のトピックを扱います。

- 「[必要な工具および部品](#)」 (P.3-1)
- 「[システム リファレンス](#)」 (P.3-1)



警告

設置手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004

## 必要な工具および部品

- Phillips\* (プラス) ドライバ、#1 ビットおよび #2 ビット
- 静電気防止用リストストラップおよび導電性フォーム パッド

## システム リファレンス

左右、前、上下に言及する場合はすべて、読者が正常稼働時配置のモビリティ サービス エンジン システムと向かい合っている状態を想定しています。

## ラック ハンドルの取り付けと取り外し

モビリティ サービス エンジン は、製品を装置ラックに簡単に取り付けることができるよう、ラック ハンドルを取り付けた状態で出荷されます。この項では、ラック ハンドルの取り外し手順と再装着手順について説明します。

この項では、次のトピックを扱います。

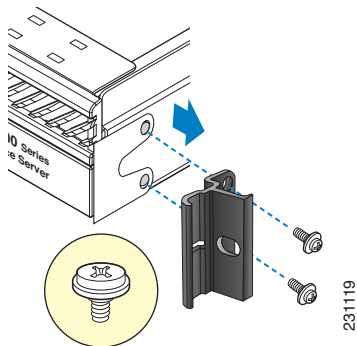
- [ラック ハンドルの取り外し](#)
- [ラック ハンドルの取り付け](#)

### ラック ハンドルの取り外し

ラック ハンドルをモビリティ サービス エンジンから取り外すには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** 「安全上の警告」(P.2-1) および「安全に関する注意事項」(P.2-3) の情報を確認します。
  - ステップ 2** モビリティ サービス エンジンの電源をオフにし、すべての周辺デバイスと AC 電源ケーブルを取り外します。
  - ステップ 3** ラック ハンドルとベゼルを固定している 2 本のネジを取り外し、[図 3-1](#) のようにモビリティ サービス エンジンからラック ハンドルを取り外します。
  - ステップ 4** ネジを使用して、ベゼルを再度取り付けます。

図 3-1 ラック ハンドルの取り外し



- ステップ 5** システムの反対側で[ステップ 4](#)と[ステップ 3](#)を繰り返します。
  - ステップ 6** モビリティ サービス エンジンに、すべての周辺デバイスと AC 電源ケーブルを接続します。
- 

### ラック ハンドルの取り付け

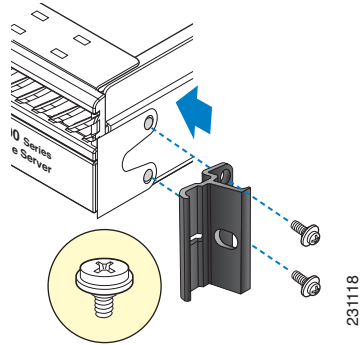
モビリティ サービス エンジンにラック ハンドルを再装着するには、次の手順を実行します。

- 
- ステップ 1** 「安全上の警告」(P.2-1) および「安全に関する注意事項」(P.2-3) の情報を確認します。
  - ステップ 2** デバイス、および接続されているすべてのデバイスの電源を切ります。電源コードおよびすべての外部ケーブルを外します。

**ステップ 3** ベゼルをシャーシに装着しているネジを取り外します ( )。

**ステップ 4** 2本のネジで、[図 3-2](#) のようにラック ハンドルをモビリティ サービス エンジンに装着します。

**図 3-2** ラック ハンドルの取り付け



**ステップ 5** モビリティ サービス エンジンの反対側で**ステップ 4** と**ステップ 3** を繰り返します。

**ステップ 6** モビリティ サービス エンジンに、すべての周辺デバイスと AC 電源ケーブルを接続します。

